



柳谷小学校だより

(第212号)

令和7年3月7日

「ありがとう」の感謝の気持ち

校長 K・T

令和5年度、柳谷小学校は在校児童が不在という状況で、一年間の休校期間を過ごしました。しかし、この間に地域の皆様の温かい励ましとご支援のおかげで、学校の灯火を消すことなく、令和6年度は、待ちに待った新入生1名と3名の転入生を迎え、全校児童4名で新たなスタートを切ることができました。この一年間、子どもたちは保護者や地域の皆様の愛情に包まれ、生き生きと楽しく学校生活を送ることができました。心より感謝申し上げます。

今年度を振り返ってみると、保護者や地域の皆様のご支援とご協力は、数え上げればきりがありません。5月のプール清掃では、暑い中早朝より大勢の方々が駆けつけてくださり、子どもたちのためにプールを綺麗にしてくださいました。6月の梅もぎ遠足では、事前に梅の木周辺の草を刈ってくださり、子どもたちが安全に活動できる環境を整えてくださいました。9月の運動会では、子どもたちの精一杯の競技や演技に、温かい声援と拍手を送っていただきました。11月のやまのこ発表会では、子どもたちの劇や合奏、合唱の発表だけでなく、地域の方々の踊りや歌も披露していただき、心温まる交流の場となりました。他にもまだまだありますが、これらの出来事は、私たち教職員一同、そして子どもたちの心に深く刻まれております。

皆様の温かいご支援に、改めて「ありがとう」の感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。この「ありがとう」という言葉は、日常的に使われている言葉ですが、その語源を辿ると、仏教のお釈迦様のお話に出てくる「有り難い」という言葉に由来します。「有ることが難しい」と書くように、本来「有り難い」とは、めったにないこと、貴重なことを意味します。つまり、「他人から何かをしてもらうことは、決して当たり前のことではなく、めったにない、とても貴重なことなのだ」という感謝の気持ちを表す言葉なのだということです。今年度皆様からいただいた数々のご厚意は、まさに「有り難い」出来事であり、私たちの心に深く響きました。

4月から、また新たな1名の新入生と転入生を迎え、全校児童7名で令和7年度が始まります。子どもたちの笑顔があふれる、活気ある学校となるよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。しかし、これまで以上に、保護者の皆様、地域の皆様のお力添えが必要となります。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

新入生1日 体験入学会

2月19日(水)、来年度1年生になる幼稚園児1名を迎えて体験入学会を行いました。小学校生活への期待感を持ってもらえるよう、1・3年生が準備をし、幼稚園児をもてなす姿に成長を感じました。



**1年間
がんばったこと
楽しかったこと**



僕が楽しかったことは、体育です。とび箱を跳べたことが楽しかったです。

3年 K・N



私は、漢字スキルをがんばりました。楽しかったことは、11月に町たんけんて吉野家さんのカステラを食べたことです。他の小学校の友達とカステラを食べたことが楽しかったです。

1年 H・N



5年生で1番楽しかったのは、スキー教室です。練習していると、自分の力で滑ることができてうれしかったです。来年はもっと上から滑られるようにになりたいです。

5年 K・T

